

## 分子動力学法と原子間ポテンシャル 正誤表

本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2023年10月26日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	116	図 3.15	$E_{\text{total}} = E'_{\text{total}} - F(\rho_i)$	$E_{\text{total}} = E'_{\text{total}} + \sum_{j \neq i} U_R(r_{ij}) - F(\rho_i) - \sum_{j \neq i} \{F(\rho_j) - F(\rho'_j)\}$
1	116	図 3.15	(図のキャプション) EAM のイメージ	EAM のイメージ. $\rho'_j$ は原子 $i$ を挿入する前の, 周辺原子 $j$ の位置における背景原子密度をあらわす.
1	213	参考文献[9]	山本義隆, 中村孔一, 『解析力学』, 朝倉書店 (1998).	山本義隆, 中村孔一, 『解析力学 I』, 朝倉書店 (1998).